

全教栃木 教育新聞

賃上げ勧告実施は当然！ 平均2%賃下げの「給与の総合的見直し」は反対！

全栃木教職員組合は教育長交渉で、私たちの要求を強く訴えました！



あいさつをする古澤利通県教育長（前列左から二人目）と県教委幹部。

人事委員会勧告に関する要求書を提出！

全栃木教職員組合は11日、県教委と交渉を行いました。この交渉には古澤利通県教育長も出席しました。

この交渉に先立ち、私たちは県知事に対して「賃上げ勧告に基づいた月例給や特別給、諸手当の引き上げを実施すること」、「『給与制度の総合的見直し』は行なわないこと」を求める要求書を県知事に、またこの二つのことに加えて「教員特殊業務手当は提案どおり引き上げること」、「給料の調整額の引き下げを行なわないこと」を求める要求書を県教委に提出して交渉に臨みました。

この交渉では、教員特殊業務手当と調整額の扱いについて、提出した要求書に基づき、

私たちの要求を説明しました。

国追随でいいのか？

勤務を要しない土日一部活動指導を行って、その手当が1時間あたり500円。遠距離通勤者には交通費にもならないくらい、低額に抑えられている教員特殊業務手当。給特法がなければ、35%の割増賃金が支払われるのですから、引き上げは当然のことであること、しかし、その財源として特別支援学校教員・学級担任者に支払われている調整額を引き下げるのは認められないことを強く要求しました。実施時期が1月1日という年度途中から行うことについても、強く反対をしました。



篠原章彦執行委員長（右から二人目）と全教栃木の交渉団。

教え子を再び戦場に送るな 30人学級を実現してゆきとどいた教育を 教員免許更新制を廃止させよう パワーハラスメント・長時間過密労働をなくそう

全栃木教職員組合（全教栃木） 全日本教職員組合（全教）に加盟しています。
〒321-0138 宇都宮市兵庫塚3-10-30 TEL 028-653-0353 FAX 028-653-1579
http://www.zenkyotcg.org E-mail info@zenkyotcg.org

席上池田聖教職員課長から「メリハリのある賃金制度」の実現を目指すという発言がありました。文科省がすすめる賃金制度に、栃木県も従っていくということの表明です。この考えに立って、部活動に対する手当は増額するが、特別支援教育に携わっているという理由で一律に支給される調整額は引き下げるというのです。

この「メリハリある賃金制度」によって、今回は手当の見直しを行おうとしています。いずれは「査定賃金」に道を開いていくものです。すでに、一時金（ボーナス）の勤勉手当が査定によって、差別支給されている香川県の例を私たちは示しました。教育委員会幹部は困惑した表情をしていましたが、いずれは今回と同様の理由で提案してくるでしょう。

「女性のパワーを感じた」第24回全国女性教職員学習交流集会

全日本教職員組合はすべての組合員の学習を保障するために、分野ごとの集会も開催しています。10月11～12日、岡山で「第24回全国女性教職員学習交流集会」が開催されました。この集会に芳賀支部の若い組合員（養護教諭）が参加してきました。その報告を紹介します。

朝6時に家を出て、12時頃岡山駅に到着し、さらに路面電車に乗って会場へ向かいました。受付の方が「まあ！若い！」と驚いていました。「まあ！栃木から！」と、さらに驚いていました。写真も撮っていただきました。受付や撮影の係の方々から「若い人の参加が本当に嬉しい。」と大歓迎されました。ホール内に入ると、どこもかし

交渉は継続中

人事委員会勧告の扱いは、まだ決まっていません。県職員労働組合との交渉が継続しているからです。「賃上げ勧告と『給与の総合的見直し』は一体のもの」としている当局と、時限ストライキも配置して交渉を続けています。

勧告が出されて以来、他の職員団体はどのように対応するか、私たちは注視してきました。残念ながら、回覧が回るわけでもなく、ホームページで知らせるわけでもなく、「静観」しているようです。

交渉終了後の19日、教職員課からあらためて人勧に関わる態度を聞かれました。そこで他団体の動向を聞くと、「態度を保留している団体もある」とのことでした。これでは知らせないのもうなずけます。

こも女性ばかり（当たり前だけど）。40代～50代の方が多いように見受けられました。

全体会での子どもたちと岡山の女性教職員たち

まず、「アロハアイーナ・フラスタジオ」の子どもたちによるフラダンスで「岡山へようこそ！」と歓迎されました。「花は咲く」や「未来」の曲に乗せたフラダンスは優雅で、慈愛に満ちていて、とても温かい気持ちになりました。

そして、岡山高教組女性部（通称OKJ）による劇「ここからはじまる～OKJ!」には、笑いあり、ぼやきありでとても楽しませてもらいました。「岡山と言えば桃太郎」ということで、岡山の地に伝わる桃太郎伝説になぞらえた演劇でした。女性の力強さ、たくましさを感じました。

（裏面に続く）

遅まきながら「生徒が測る放射線から」



11月16日に宇都宮市で開催された「さよなら原発アクション11・16」

放射線の低線量被ばくによる健康被害は、今なお不明な点が多く、諸説有り定説はないとされている。今はまだ「わからない」のだ。WHOは年間被ばく量を1ミリシーベルト（1時間あたりでは0.23マイクロシーベルト）を上限と定めている。それ以上被ばくしている人がおり、ほとんど放置状態であるのが現実だ。同じ国連の機関であるUNESCOからの「世界遺産」は有り難がるのに、WHOの「基準」は重視しないのである。

本県高校での放射線対策は、栃木県教育委員会の正式な報告によれば「放射線に関するQ&Aの作成」および「県立高校十数校の表土除去」である。

教員に学校に教育委員会に文部科学省に日本に、一体何ができるだろうか。

教え子を再び戦場に送るな

1. 定期的に1回学校と通学路の放射線量を生徒が測る。2. 定期的に食品と土の放射能を生徒が測る。3. 教師が生徒とともに、諸説を知る。4. 生徒たちが今後どうすればいいのか、自分たちで考える機会を持つ。5. 人間を地球環境を最優先にする政策を打つ。

今「わからない」のなら、放射線と隣り合わせで暮らす若者に判断してもらわなくてはならぬ。未来に託すのだ。そのために我々は、先輩として最善を尽くさねばなるまい。「がんばろう日本」と連呼するかわりに、大人として、まず生徒が若者が自分の手で「測って知り学ぶ」ことを始めよう。遅まきながら。

佐野松桜高等学校 高久 栄一
(全教栃木執行副委員長)

30人学級を実現してゆきとどいた教育を

表面から

また、女性の管理職登用や、セクハラ・マタハラ問題についてなど、女性ならではの「ぼやき」も織り交ぜられ、「うん、うん」と頷いてしまいました。

基調報告と挨拶

全教女性部長、全教中央執行委員長、岡山高教組執行委員長の基調報告・挨拶がありました。それぞれ、年収200万円以下のいわゆるワーキングプアが安倍内閣発足後に30万人増加したこと、日本のジェンダー率が135カ国中105位だということ、教育への税金の使われ方の問いかけなどが語られた。井上美恵子全教女性部長の女性の視点からの「仕事と家庭の両方を大切にしたい。」「生き生きと働きたい。」という主張は印象的でした。

絵本作家の講演

2012年度青少年読書感想文全国コンクールの推薦図書に選ばれた絵本「へいわってどんなこと？」の作者、浜田佳子さんの記念講演が行われました。浜田さんによる絵本「へいわってどんなこと？」の朗読は心にじんじんと沁みましました。

教員採用試験に合格しました！

全栃木教職員組合は組合員になった臨時・非常勤教員が参加する採用試験学習会を開催しています。

今年の2月組合に加入し、毎月開催された採用試験学習会に参加した女性が採用試験に合格し、その体験記を寄せてくれました。

10年以上試験勉強から離れていた私は、組合からいただいた「過去問題集」がとても役に立ちました。試験まで3か月しかなかった私は、過去問題と過去問の類似問題を解きました。そして、わからなかった問題を学習会に持っていき、先生方に教えていただきました。

中国・韓国・日本の絵本作家が連帯して平和絵本を作成するというプロジェクトはたくさんの困難があったそうです。浜田さんの絵本を作る際も、「(浜田さんの絵本は)日本人にしかわからないだろう。被害者意識が強くて、加害者意識が希薄だ。」と指摘されたことにショックを受けたそうです。私もその言葉を聞いてはっとしました。「日本は世界で唯一の被爆国」という意識だけが強く、日本人も世界で加害者になっていたことを失念していました。

子どもたちには豊かな自尊感情をもってほしいと訴えていました。豊かな自尊感情は、平和を築いていく上での支柱です。大事にされることで、自分自身を思いやり、他者を思いやる心が芽生えます。そうして、友人を思いやり、大切にすることで、命の共感を育てていくのです。

講演会後の絵本等の販売コーナーは大盛況で、絵本「へいわってどんなこと？」は完売しました。私はほしかったのに買えませんでした。他の絵本(きょうだい愛が感じられる絵本)を購入したので、将来、子どもが産まれたら読んであげたいと思います。

たくさん質問したのに優しく教えていただきました。

組合で作成してくださった模擬試験や、予想問題は現在の自分のレベルを図るのに役立ち、2次試験で実施される作文も3月から開始したことによって教育の問題、自分の考えが明確になりよかったです。

臨時教員 塩谷容子さん

全栃木教職員組合は来年2月7日(土)、宇都宮市文化会館で採用試験学習会を開催します。

教員免許更新制を廃止させよう

パワーハラスメント・長時間過密労働をなくそう